



Budoonoki

ぶどうの木 時間旅行

Travel at Time of Budoonoki

Winter 2012
Vol. 03

1月15日~3月14日



第3回 テーマ 「フランス」「マリアージュ」

おかげ様で創業30周年

30th

Budoonoki

フレンチレストランの ぶどう棚の下で結婚式を。

ぶどうの木がフランス料理の店『オーベルジュぶどうの木』をオープンしたのは20年前のことでした。オープンから1年ほどが経った頃だったでしょうか、オーベルジュで結婚式を挙げたいというお客様があらわれたのです。海外ウェディングの後、身近な人たちを集めてお披露目のパーティーをしたいというのです。それで、なんとかお客様の声に応えようとお手伝いをしたのが、ぶどうの木ウェディングの始まりでした。ほどなくして、会場を覗いたときに新郎がご挨拶の中で「私たちはデートでここを訪れ、ここで結婚しようと決めました。だからこの店で結婚式を挙げたかったです」とおっしゃってくださり本当に感激したのを覚えています。

その後、ぶどう棚の下で結婚式を挙げたいという人が出てきたときには、それならば祭壇らしいものが必要だろうと、自分たちでぶどうの葉をコピーして生コンの型までとってオリジナルの祭壇を作りました。会場が手狭になり、お客様にご迷惑をかけると思ったときにはハーブ園だった場所をつぶしてレストランを広げました。ぶどう棚の天井の開閉を手動にするなど、お金がなかった分は知恵を出しました（笑）

当初は、チャペルは必要ないと思っていたのですが、結婚式の様子をビデオで見ていたときに、汗を拭いながら参列しているお客様がいらっしやるのを見て、何とかしたいという思いでチャペルも作りました。

今では、専門のスタッフも置き、ブライダルでも本当に多くのお客様にご利用いただけるようになりましたが、すべてはお客様に教えられ、導かれるようにして今日があります。このほど、結婚式の主役である新郎新婦のためのブライズルームを新設しました。ぶどうの木はこれからも少しずつお客様の声に耳を傾けながら、大切な日のお手伝いをしたいと思っています。

ぶどうの木 本昌康

新たにオーベルジュぶどうの木に
ブライズルームが誕生します。